

結果：4＝あてはまる 3＝おおむねあてはまる 2＝どちらかといえばあてはまらない 1＝あてはまらない

評定：A＝対象の80%以上が肯定 B＝対象の70%以上が肯定 C＝対象の60%以上が肯定 D＝対象の60%未満が肯定

＜■は課題となる結果＞

項 目	評価指標	評価資料	アンケート結果					評定	・評価の分析、考察 ○改善策	今後の改善の方策 (学校関係者評価委員から)	%		
			4	3	2	1	無						
教育目標	「自ら学び なかよく励む子の育成」の達成に向けて、具体的に教育改善している。	教職員	4	7	0	0	0	A	・「い・わ・ぎ」の合言葉が分かりやすい等、肯定的な意見が多い。	●学校経営方針の重点目標の順に項目があると分かりやすい。 ●昨年度と比較できると分かりやすい。 ↓ C Sに向けて、町で統一箇所が…。	98%		
		児童											
		保護者	22	30	2	0	2						
		地域住民	12	11	0	0	0						
学力・学習習慣	基礎・基本の充実を図り、確かな学力の定着・向上に向けて積極的に取り組んでいる。	教職員	9	2	0	0	0	A	・児童と保護者の評価に差がある。 ・発表の仕方が身に付いていない。 ○家庭学習の方法を定期的に伝えるなど家庭との連携に取り組んだ。 ○学力定着調査、診断調査の結果を参考にして取組を改善する。 ＜来年度の取組案＞ ○朝の活動（基礎基本の定着） ○読 解 力（授業改善と読書） ○自主勉強（家庭との連携） ○個別指導の工夫 ○表現や感想発表の場を多く設け、大きな声で発表できるよう意識して指導する。	○親の評価は厳しい。大きな声で発表したら100点をあげたい。頑張った子は、ほめてあげてほしい。	96%		
		児童	54	17	3	0							
		保護者	20	32	3	0	1						
		地域住民	10	13	0	0	0						
	望ましい学習習慣・学習態度（家庭学習も含む）を育成している。	教職員	4	7	0	0	0	A				90%	
		児童	59	15	1	0							
		保護者	13	30	12	1	0						
		地域住民											
	児童は、発表の仕方が身に付いている。	教職員	0	9	2	0	0	A					81%
		児童	52	16	4	3							
		保護者	8	29	17	1	1						
		地域住民											
学習指導	指導法や指導体制の工夫・改善に努め、分かる授業づくりに取り組んでいる。	教職員	4	7	0	0	0	A	・今年度は、対話的によって学びを深めることができるような授業をめざして授業研究に取り組んだ。 ・自然、文化について計画的に地域人材を活用した。 ・新しく読み聞かせボランティアに取り組んだ。児童はとても喜んでいる。今後もボランティアスタッフが増えそうだ。	○故郷を誇れるよう、今後も地域の特色を生かしてほしい。			97%
		児童	63	10	2	0							
		保護者	32	20	1	1	2						
		地域住民	12	11	1	0	0						
	学習の充実のために、自然・文化・人など、地域の特色を生かしている。	教職員	6	5	0	0	0	A					98%
		児童	67	7	1	0							
		保護者	34	21	0	0	1						
		地域住民	15	8	2	1	0						
心の教育	望ましい人間関係づくりができています。	教職員	3	8	0	0	0	A	・対話的な人権集会は、異世代と交流ができて大変有意義なものになった。 ・人権・同和教育参観日に参加してくれた人たちからは、よい感想がもらえている。どのようにすれば多くの人に参加してもらえるか今後の課題である。	○友達との人間関係で悩む子が減った。 ○男女の仲がよく、卒業しても一緒にいることが多い。		99%	
		児童	68	7	0	0							
		保護者	22	32	2	0	0						
		地域住民											
	児童が命の大切さを実感できる教育の充実が図れている。	教職員	1	10	0	0	0	A				100%	
		児童	69	6	0	0							
		保護者											
		地域住民											
	人権・同和教育を計画的に実践している。	教職員	4	6	0	0	0	A					97%
		児童	65	7	2	1							
		保護者	31	23	1	0	1						
		地域住民	10	13	0	1	0						
学校体育	体育の時間や遊びなどを通して、体力づくりを進めている。	教職員	7	5	0	0	0	A	・部活動やらんらんクラブに意欲的に取り組んでいる。 ・朝の持久走を楽しみにしている児童が多い。 ・ITスタジアムの参加は高評価だ。 ・新しくなわとび大会を開催する。				94%
		児童	52	15	6	2							
		保護者	37	19	0	0	0						
		地域住民											
特別活動	学校行事等は、創意工夫を生かし、充実している。	教職員	4	7	1	0	0	A	・地域とのふれあい、地域の方の参加を考えながら、少しずつ計画を変えて進めている。		96%		
		児童	56	14	5	0							
		保護者	28	27	0	0	0						
		地域住民											
生徒指導	児童一人一人にアンケートや教育相談などを実施し、全校職員が協力して、問題の早期発見・早期対応が図れている。	教職員	7	4	0	0	0	A	・保護者からの評価が少しよくなっている。「1」はあってはならないこと。早速、対応に取り掛かる必要がある。 ○教育相談やQ-U検査を行い、気になる点を情報交換しながら、家庭との連携に努めたい。	○友達との人間関係で悩む子が減った。 ○男女の仲がよく、卒業しても一緒にいることが多い。	92%		
		児童	55	12	4	4							
		保護者	19	32	3	1	1						
		地域住民	6	17	1	0	0						
基本的な生活習慣	基本的な生活習慣の育成ができています。	教職員	2	10	0	0	0	A	○家庭ごとの差を埋められるよう学級PTAで話し合う。 ・児童と保護者との温度差が大きい。学校ではしているが、家庭や地域で挨拶ができにくい子がいる。 ○乗船前に全員で挨拶するときはある。しかし、乗船を助けてくれた船員には挨拶をしない。どちらかといえば、この挨拶の方が大切な気がします。気持ちのこもった挨拶ができる子を育てていきたい。	○下校中、保育所に向かって元気のよい挨拶をしてくれる。 ・何の気なしに会った時、笑顔で挨拶をしてくれた。	90%		
		児童	53	16	5	1							
		保護者	19	29	6	2	0						
		地域住民											
	進んで気持ちのよいあいさつができています。	教職員	2	7	3	0	0	A				85%	
		児童	58	13	2	1							
		保護者	14	28	13	2	0						
		地域住民	13	9	4	0	0						
進路指導	将来の夢や希望について、話したり、考えたりする機会を設けている。	教職員	2	6	2	0	0	A	○体験を通して、夢を抱く子は多い。機会を逃さず計画的に指導していきたい。			82%	
		児童	53	11	5	6							
		保護者	19	25	5	7	0						
		地域住民											
学校安全	非常時に適切に対応できるような訓練や指導ができています。	教職員	3	9	0	0	0	A	○避難訓練に真剣に取り組めるよう、各学年に応じた事前事後指導も大切である。		97%		
		児童	65	7	2	1							
		保護者	29	25	2	0	0						
		地域住民	16	10	0	0	0						
特別支援教育	コーディネーターを中心に、特別支援体制を整え、協力して支援している。	教職員	3	7	1	0	0	A	○昨年度に比べて、評価が低い。研修の年間計画に位置付けて、研修をしていきたい。		89%		
		児童											
		保護者	19	28	5	1	3						
		地域住民											
保護者・地域との連携	保護者や地域の人々とのふれあいを通して、信頼関係を確立している。	教職員	6	7	0	0	0	A	・地域、保護者の期待に応える教職員をめざす。 ・ホームページを毎日更新した。 ・環境整備を中学校と別の日にしてほしい。 ・送り迎えを嫌がる保護者が増えている。		94%		
		児童											
		保護者	24	26	3	1	2						
		地域住民											
	「学校だより」や「学級だより」等の内容は適切である。	教職員	7	6	0	0	0	A				97%	
		児童											
		保護者	26	26	3	0	1						
		地域住民	16	10	0	0	0						
施設設備	校舎内外の美化が充実している。	教職員	4	9	0	0	0	A	・昨年の反省を生かして、複数の目で安全点検を行った。 ○時間いっぱい掃除するよう指導していく。			98%	
		児童	62	13	0	0							
		保護者	24	29	3	0	0						
		地域住民	19	7	0	0	0						